

# 令和3年度事業報告書

令和3年9月8日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 アレッセ高岡

## 1、事業の成果

### (1)外国ルーツ青少年を中心とした学習・キャリア支援事業

#### 対面教室

対象：進学を希望する中学生以上の外国ルーツ生徒+希望する日本人生徒

日時：火曜日 17:00-19:00、土曜日 9:30-11:30、13:00-15:00

内容：日本語指導、教科学習支援、社会課題への意識を高める帯活動（コメントシート）

受益者負担額：月 3,000 円

支援者への謝礼：講師は1回（2時間）1,000円+交通費、アシスタントは交通費のみ

2021年度総生徒数：28名（ブラジル20、ロシア3、中国1、ペルー1、オーストラリア1、フィリピン1、日本1）

延べ年間実施回数：118回（2時間1回）

延べ年間参加生徒数：545人

#### オンライン教室

対象：小学生以上の外国ルーツ児童生徒

日時：水曜日 17:00-19:00、土曜日 15:30-17:30

内容：日本語指導、教科学習支援

受益者負担額：年 3,000 円

支援者への謝礼：なし

2021年度総生徒数：20名（ブラジル16、中国1、韓国1、フィリピン2）

2020～2021年8月の総支援生徒数：23名（内、対面生徒15名）

延べ年間実施回数：98回（2時間1回）

延べ年間参加生徒数：72人

#### 多言語で動画を作成

参加者：若者チーム…高岡向陵高等学校国際部（+他校の高校生・大学生を含む）

大人チーム…中国・ブラジル・フィリピン・イギリス・ロシア人の地域住民

日時：木曜日放課後、その他不定期

内容：中学1年の数学の基礎を学ぶ多言語動画の制作・配信

成果物：「1.正の数と負の数」ポルトガル語・中国語・英語・やさしい日本語 ver.の制作・配信

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL8xopZ3WDgFiPmNZU9v6m8ztwGqwkODVW>

※現在、動画2「2.正の数と負の数の足し算と引き算」の中国語 ver.を作成中

### (2)外国人住民に対する多言語情報支援

#### 高校進学説明会を開催

コロナ禍により対面説明会が開けないため、青年部で高校進学説明動画を作成・配信

<https://www.alece.org/schooladmissionproject>

## 外国ルーツの保護者に多言語資料配布

「輝く未来へのステップ」＜小学校6年生向け＞（ポルトガル語3部、中国語5部、タガログ語13部、英語17部、ロシア語4部）配布

「きりひらけ！私たちの未来」＜中学校3年生向け＞（ポルトガル語30部、中国語17部、タガログ語23部、英語12部、ロシア語4部）配布

## (3)多文化共生・日本語教育に関する啓発・研修・協働事業（市民性教育講座）

### 市民性教育講座

21.10.2「映画鑑賞ワークショップ『君がいる、いた、そんな時』上映会&トーク・ディスカッション」  
迫田公介監督

21.11.21「キャリアデザイン・セミナー&WS 『なりたい自分』になるために～自分のキャリアをデザインする～」名嶋義直氏（琉球大学教授）

22.1.8「新年に夢を語ろう会」（アレッセ高岡）

22.2.20「防災ワークショップ『非常食にトライ！～自分ができる備えとは。いざという時のために～』」  
→コロナ感染拡大により中止。予定していたプログラムの一つを動画化。今後多言語化予定。

[https://youtu.be/OdJ0WBv\\_LvY](https://youtu.be/OdJ0WBv_LvY)

22.1.29「『絵本のチラシを作ろう』ワークショップ」中川正臣氏（城西国際大学准教授）・石原弘子氏（多言語絵本の会 RAINBOW 代表）

22.3.19「映画鑑賞ワークショップ『彼の見つめる先に』」（アレッセ高岡）

### フィルムフェスティバル

22.3.26-28「アレッセ・フィルムフェスティバル“フィウミ・コロリド”第一弾：映画制作ワークショップ」

22.6.11「アレッセ・フィルムフェスティバル“フィウミ・コロリド”第二弾：映画祭」開催予定

### アレッセ青年部の活動

アレッセ卒業生、アレッセ在籍中外国ルーツ高校生、外国ルーツ&日本人高校生・大学生ボランティア等  
9名

アレッセ高岡は、以上(1)～(3)の事業を通し、外国ルーツの青少年が市民として主体的に参画できる社会となり、新たな発想と行動力を持った地域住民として地域課題を解決するようになることを目指す。さらに、同じ課題を抱える全国の地方都市のモデルを目指す。

3月に開催した映画制作WSでは、抽選で選ばれた外国ルーツ5名と外国にルーツのない日本人5名の計10名が1つのチームとなって、プロの講師の下、短編映画の制作に取り組んだ。一つの映画作品を作る中で、積極的に意見を言い、行動し、異なる相手を尊重する姿が見られ、参加者に大きな変化があった。映画制作を通して参加者の間に絆が生まれ、他者と共に明るい未来を築く地域の多文化共生の芽がこのワークショップで生まれたと考える。

CLD 青少年が地域で活躍できるよう、今後もアレッセ高岡の市民性教育講座がそのきっかけになればと願う。日本国際交流センターの助成は、2022年度までであるので、2023年度の事業費等をどのように工面するのか大きな課題である。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施 日時 (B)当該事業の実施 場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範 囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：円)
(1) 外国ルーツ青少年を中心とした学習・キャリア支援事業	CLD 青少年への対面授業による学習支援	(A)毎週 火曜 17:00~19:00 土曜 9:30~11:30, 13:00~15:00 (B)ニッセンビル 1F (C)10名	(D)250名 (E)17名	2,100,517
	CLD 青少年へのオンライン授業による学習支援	(A)毎週 水曜 17:00~19:00 土曜 15:30~17:30 (B)事務所および自宅他 (C)7人	(D)750名 (E)20名	
	多言語での教科学習動画の作成	(A)不定期 (B)オンライン (C)7名	(D)200名 (E)再生回数 309回	
(2) 外国人住民に対する多言語情報支援事業	高校進学説明会の開催	(A)年一回 (B)オンライン (C)3名	(D)200名 (E)再生数 88回	254,791
	外国ルーツの保護者・青少年への多言語資料配布	(A)年一回 (B)希望者に配布 (C)3名	(D)800名 (E)128名	
(3) 多文化共生・日本語教育に関する啓発・研修・協働事業	市民性講座の開催	(A)年 12回 (B)ニッセンビル (C)15名	(D)1,000名 (E)125名	3,259,700
	映画制作 WS の開催	(A)年一回 (B)ニッセンビル及び周辺 (C)15名	(D)500名 (E)10名	